

市民病院広報 第1号

竜んおとし子



- 目次 -

院長挨拶.....	2	ふるさと歴史探訪.....	10
オーダリング.....	3	保険証について.....	11
新人紹介.....	4	外来診療担当表.....	12
お知らせ.....	6		
基本健診日程表.....	7		
糖尿病講座.....	8		
スポーツ愛好会.....	9		

平成16年6月

発行 平戸市民病院
平戸市草積町1158-1
TEL 0950-28-1113
FAX 0950-28-0800
編集 広報委員会

発刊に寄せて

院長 押淵 徹



平成十六年度がスタートしました。私たちの平戸市民病院が、保健総合施設(平戸市保健センター)「サンケア平戸」とともに産声を上げて、はや九年目に入りました。その間、旧平戸市立南部病院の残した膨大な赤字の清算におわれながら、新たな時代に合った病院運営も併せて行ってきた結果、まずまず順調であると思っています。

過ぎ去った八年間を振り返ると、取り残されていた南部地区の健診受診率の向上がはかられ、

先駆けていた中部地区と同等の健康の水準に達しました。旧紐差病院時代から、県北では一番乗りして産声を上げたりハビリテーション事業は、これまでの実績を評価され、「県北地域リハビリテーションシオン広域支援センター」の指定を受けております。医療機器の整備では、全身CTスキャンの更新、時代に即応した心臓や腹部超音波機器の導入、最新の内視鏡機器の導入、県北では最高の水準にある検査室機能が挙げられます。県北でいち早く整備された病棟(一般病棟・療養病棟)は、厚生労働省が全国に整備を義務づける前から完成の域に達しております。県北では数少ない小児専門医が常勤し、一般の診療機能は、必要とされる地域医療を十分満たしており、加えて手術治療までできる整形外科、眼科治療などは特筆されるところです。旧紐差病院と旧南部病院の合併の際、市民の皆様にお約束してまいりましたこと(平戸市民病院・平成六年度策定)は、職員の血のに

じむ努力に加え、勤務していただいた医師の皆さんのご協力です。果たしてこれたものと思います。

これからの市民病院

長年の不況が、私たちの病院運営にも暗い影を投げかけています。また、マスコミで取上げられております医師不足は、この平戸ではいつそう深刻です。

しかし、医療の提供はこれまで以上の質が求められます。地域を支える介護保険事業も、医療があつてこそより質が高まるのです。そうして住み慣れたこの地域で、いつまでも健康で長生きするよう願っておられる市民の皆さんの一助になることが、我々平戸市民病院の使命とっております。

この広報誌を通じて、皆様方に病院の運営をご理解いただきたく、定期発刊することになりました。どうぞご愛読ください。ますよう、そして、よりよい病院づくりにご意見を賜りますようお願いいたします、発刊に寄せてのご挨拶といたします。

◆平戸市民病院の基本理念◆

地域とのふれあいを大切に
地域に愛され信頼される
包括医療の実践

順調稼動 オーダリングシステム

オーダリングシステムとは、伝票や処方箋内容を医師がコンピュータに入力することによって、処方箋処理から医事会計までを電子化したシステムです。当院では、15年度から稼動しています。診療科と医事会計・検査等の各部門をつなぎ、外来患者様の待ち時間の短縮などの患者サービスの向上、業務の迅速化、効率化に効果を発揮しています。

医師は、端末から必要なオーダーを入力します。



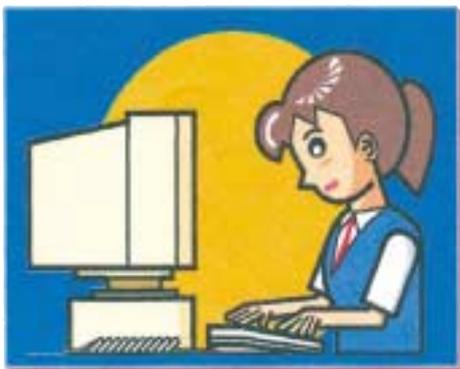
自動受付機に診察券を通すことで医事会計システムに登録。受付表が発行されます。初診の方は、医事窓口で手続きを行い、二回目のご来院から自動受付機の利用となります。



医師のオーダーに基づいて、レントゲン検査や血液検査等が行われます。採血後二〇分から三〇分で検査結果がわかります。データ確認後、診療科へデータを送信します。



医師が入力したオーダー情報はネットワークを通して瞬時に医事会計システムに登録。オーダー実施確認後会計となります。

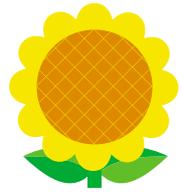


医師オーダーと密に連携する看護支援システムの導入により、看護オーダー入力をはじめ、看護ワークシートの出力や空床状況の確認など、充実した体制・環境が実現しました。





はじめまして



市民の皆様お世話になります



松田 光代 看護師



四月一日からお世話になって
います。平戸は初めてですが、
海の幸、山の幸に恵まれ、とっ
ても素敵なお店とあっていま
す。外科を担当しており、超音
波検査、上部及び下部消化管内
視鏡(胃内視鏡、大腸内視鏡)検
査も行っています。怖がらずに
必要な時は検査を受けてくださ
い。これからもよろしくお願
いいたします。 池田祐司



池田 祐司 医師



藤澤 博孝 看護師



私は昨年十二月まで名古屋
の病院で仕事をしていました。
主に整形の病棟で、膝の靭帯損
傷を専門に行っていたので、若
い患者さんがほとんどでした。
そのため、内科的疾患をもつ患
者さんの看護をするという事が
あまりありませんでした。今回
平戸へ帰って来て、この市民病
院に就職することができました。
二階は混合で疾患も幅が広い
ため、不安や戸惑いもありまし
たが、皆さんに支えられ少しづ
つ慣れてきたように思います。
これからも頑張っていきたいと
思いますので、よろしくお願
いいたします。 松田光代



藤澤博孝

本年四月から、平戸市民病院
で勤務することになりました藤
澤博孝です。出身は平戸の木場
町ですが、平戸の文化や名産な
どにはイマイチ知識不足な点が
あります。学生の時平戸を出て、
外から故郷を見た時、やはり平
戸はいいなと感じ、地域で貢献
するため戻ってまいりました。
ゆくゆくは平戸の文化や名産を
語るよう勉強します。
今の目標は、早く仕事を覚え
一人前の看護師として活躍でき
るようになりたいと思っています。
まだまだ力不足ですが、病院
や地域活動で、平戸市民との交
流を深めていきたいです。
ちなみに、趣味としてはスポ
ーツが好きなので、ソフトボー
ルやバドミントンに参加しよ
うと思っています。



日高久美子 看護師

はじめまして、私は今まで名古屋の病院に勤務していました。

高齢者としてしか接したことがなく、とまどうことも多々ありますが、スタッフの方々に親切に指導して頂き、充実した毎日をお過ごししています。休日には大好きな海へ行き、貝をとったりアラカブ釣りを楽しんでいます。向こうとは違い、平戸は時間がゆっくりと流れ、大変おちつく私のふるさとです。このふるさとで働けることを光栄に思います。みなさんよろしくお願います。

日高久美子

本年度から新規採用になった松口です。引き続き二階一般病棟で働くことになりました。以

前から感じていたことですが、市民病院で働いている皆さんとても優しく、わからないこともいろいろ教えていただいています。これからもまだまだ分からないことがあると思いますが、ご指導をよろしくお願います。私は、人前ではすごく緊張しますが、誰とも仲良くなれる性格です。みなさんと仲良くなつて、楽しく仕事をしていきたいと思っています。

松口留美



松口 留美 看護師



四月から二階病棟でお世話になっていきます。私は、今まで整形外科で四年間と、グループホームで少し働きながら看護学校に通っていました。そして今年の国家試験に合格し、ようやく

看護師としてスタートラインに立つことができました。

約三週間程ですが、働いてみて看護師という職業の責任の重さを痛感しています。これから先輩方に多くのことを教わりながら頑張っていこうと思えます。よろしくお願います。

永田さとみ



永田さとみ 看護師



四月から看護助手として働いています。今まで経験がなくすべての事が初めてで、戸惑いや不安がありますが、先輩方に色々教えていただけて勉強になり、徐々に慣れてきています。失敗や迷惑をかけると思いますが、これからたくさんのお事を勉強していきます。患者さんのために頑張ります。

鋒屋 ゆり



鋒屋 ゆり 看護助手



二月から勤務しております中島理津子です。経験も知識も未熟で何かとご迷惑をかけていますが、頑張りますので今後ともよろしくお願います。

好きな事は、ひたすらに眠ること、今の季節は昼寝ばかりしています。

中島理津子



中島理津子 看護師

病院からのお知らせ



病院内で「たばこ」は吸えません

●5月1日から院内全館禁煙

5月1日から、市民病院内は終日禁煙となり、屋外の指定された場所以外の喫煙はできません。受動喫煙防止等を盛込んだ「健康増進法」が、昨年5月に施行されたことによるもので、全国的にも公共施設や病院で、禁煙対策が盛んに進められています。

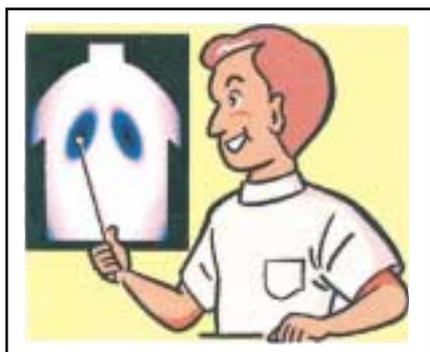
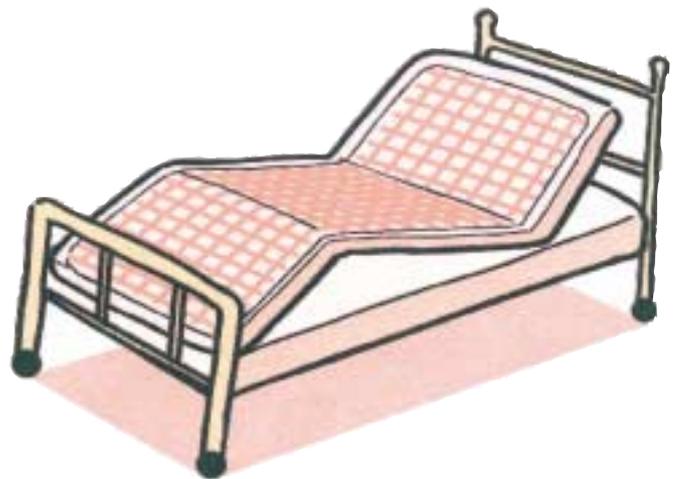
愛煙家にとっては、肩身のせまい思いをしているのではないかと考えられますが、「たばこ」を吸わない方の立場を尊重し、快適な院内環境を守るため、市民皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

●快適な療養環境に

電動ベットを導入しました

近年、医療や介護の現場では、患者様のQOL(生活の質)の向上づくりが大きな課題となっています。こうしたことから平戸市民病院では、患者様が快適に入院生活が遅れるよう療養環境の整備に努めており、本年2月には病室に電動ベッド40台を導入しました。1日中ベット上で過ごす患者様からは、快適な入院生活ができるようになったと喜ばれています。

また、マットレスは、定期的に消毒洗濯済みの寝心地の良い褥瘡予防マットレスを使用しており、いつも清潔で満足した生活が送れるよう心がけています。



16年度の 基本健診・大腸がん検診が 始まります

実施月日	受付時間	実施場所
6/9(水)	9:00~10:30	高越公会堂
	13:30~15:00	中津良ふれあい会館
6/10(木)	9:00~10:30	船越公会堂
	13:30~15:00	早福公民館
6/15(火)	9:00~10:30	猪渡谷集落センター
	13:30~15:00	堤営農センター
6/16(水)	9:00~10:30	多目的集会施設(前津吉)
	13:30~15:00	
6/23(水)	9:00~10:30	志々伎ふれあい会館
	13:30~15:00	
6/24(木)	9:00~10:30	野子厚生会館
	13:30~15:00	宮の浦漁民研修センター
6/29(火)	9:00~10:30	多目的研修センター(津吉)
	13:00~15:00	
6/30(水)	9:00~10:30	根獅子公民館
	13:00~15:00	
7/7(水)	9:00~10:30	飯良公会堂
	13:30~15:00	木ヶ津公会堂
7/8(木)	9:00~10:30	獅子ふれあい会館
	13:00~15:00	
7/13(火)	9:00~10:30	大川原第1公会堂
	13:30~15:00	深川公会堂
7/14(水)	9:00~10:30	宝亀第2公会堂
	13:00~15:00	
7/28(水)	9:00~10:30	中野小主師分校
	13:30~15:00	中野漁民センター
7/29(木)	9:00~10:30	自然休養村センター
	13:00~15:00	
8/4(水)	9:00~10:30	サン・ケア平戸
	13:00~15:00	
8/6(金)	13:00~15:30	サン・ケア平戸
	17:00~20:00	

【基本健診・大腸がん検診(個別)】

健(検)診期間：9月1日(水)~9月30日(木)<休診日を除く>

対象者：40歳以上で職場健診を受けていない方

30~39歳で国民健康保険に加入している方

受診料：基本健診・・・無料

大腸がん検診・・・500円(70歳以上の方は無料)



平成16年度も糖尿病教室を開催します

平成14年度から糖尿病教室を当院で再開するようになりました。久しぶりの教室だったため、14年度には4回(講義形式3回、バイキング1回)行ったところ、もっと開催してほしいと嬉しい声をいただき、15年度には、5回開催することができました。

15年度は、初めての試みとして体験コーナーを行いました。体験コーナーには、運動コーナー 麻痺体験コーナー フットケアコーナー 栄養相談コーナーの4つを設けました。

運動コーナーでは、ストレッチ、正しい歩行の方法を、実際に体を動かして学習しました。

麻痺体験コーナーでは、片麻痺になった状態を装具をつけて体験し、眼についても、白内障になった状態を体験しました。

フットケアでは、実際に足を洗ったり、鏡を使って足の裏を観察する方法を学習しました。栄養相談では、パンやそばを使って、実際自分が何回かんでいるのかを数えたり、昨日食べた野菜の量を計ったりと、時間が足りないくらい盛り上がりました。

初めての試みだった体験コーナーですが、受講者の方に評判もよく、また行ってほしいという声をたくさんいただきましたので、16年度も体験コーナーを充実できるように、スタッフ一同努力していきます。

16年度の第1回糖尿病教室は、6月18日(金)に開催予定です。今回は講義形式ですが、皆さんがとても興味ある食事についてもお話がありますので、たくさんの参加をお待ちしています。



糖尿病教室は、患者さんばかりでなく、糖尿病に興味がある方、学習したい方ならどなたでも参加できますので、気軽にご参加ください。

いい汗流してますよ 市民病院スポーツ愛好会を紹介します！



平戸市民アスレックス

こんにちは。私たちは「平戸市民アスレックス」というソフトボールチームです。市民病院・保健センター職員で主にメンバーを構成しています。昨年、平戸・北松地区の6つの病院が集まって開催している「とびうおリーグ」に参加しており、昨年は、得失点差で惜しくも2位という結果でした。今年は7チームが集まりました。今年こそは優勝できるように、練習を積んで頑張りたいと思います。

本年度、4月11日(日)に「とびうおリーグ」が開幕しました。初戦は、初参加の菊地病院との対戦で12対5と見事に勝利！ 第2戦は、強豪の青洲会病院との対戦で、一進一退の攻防となり、9対9の引き分けに終わりました。これからも随時、試合結果がわかり次第ご報告していきたいと思っております。皆様のご声援よろしくお願いたします。



バドミントンクラブ

平戸市民病院・保健センターを中心に中南部出先機関と一緒に、職員間の親睦と健康づくりを目的としたバドミントンクラブの発足から4か月が経とうとしています。初心者で空振りばかりだった私も、なんとかイチローの打率なみには打ち返せるようになりました(^o^)

一緒に汗を流すことにより、職場では決して見られないようなお茶目な一面や意外な方の運動神経の良さに、驚き感心したりと発見の連続で、老若男女楽しんでます。練習は毎週火曜日に行っています。



ふるさと歴史探訪

木ヶ津 普門寺を訪ねて

木ヶ津の普門寺の墓地には、第三十五代松浦藩主、松浦燕観中公及びその妻、養子夫人、側室幾世の方との間に生まれたお秀様のお墓があります。観中公の父、三十四代松浦静山は、文人大名として知られ、一八二一年(文政四年)甲子の夜から書き始めた「甲子夜話」は、あらゆる階層の人々の伝聞を集めた大書で、全一八〇巻にもおよびます。

信長、秀吉、家康の性格を例えた「鳴かぬなら殺してしまえ

ホトトギス」、「鳴かぬなら鳴かしてみようホトトギス」、「鳴かぬなら鳴くまでまとうホトトギス」の言葉を最初に使ったのも松浦静山といわれています。



学者であり、歌人であり、天下の三勇士と呼ばれるほどの剣の達人でもありました。



静山は、その息子である観中公に幼少の頃から高名な家庭教師を就け、いずれは幕府の要職と考えていたようですが、その頃は平戸藩の財政も困窮しており、うまくいかなかったようです。観中公も文人として優れており、たくさんの自作の句碑を残しています。観中公の墓の横には、養子夫人(松平定信の娘)、すぐ近くにお秀様のお墓が並んでいます。お秀様は、一度、京に嫁がれますが、離縁して帰ってきます。そして、その後棲霞園(お花畑)、梅屋敷などに住まわれ、この地で生涯を終えられました。



皆さん、健康保険にはきちんと
入っていますか？

どうしよう～具合
悪いけど、健康保
険に加入してない
から病院にいけな
いわ...



最近、国会議員が国民年金未
払い問題などで世間を騒がせて
いますが、実は、病院でも突然
の病気やケガで来院される患者
様で、健康保険に入っていないか
ったり、保険料未払いでスムー
ズに受付が出来ない方が増えて
います。
日本では、全ての国民が安心
して病院にかかれるように、い

ずれかの医療保険に加入するよ
う法的に定められています。こ
れを『国民皆保険制度』とい
います。社会情勢を反映して、い
ろんな事情で保険料のお支払い
が困難な方もいらっしゃると思
いますが、中には「自分は健康
だから良い」とか、「ケガした
ら入れば良い」などと安易に考
えている方もおられます。もし、
無保険で不測の事態が起こった
場合、病院に受診される事をた
めらい、悪化してから来院され、
結局入院となり高額な治療費を
請求されるといふことにもなり
かねません。症状にもよります
が、特に手術等をされなくても、
無保険で一か月入院されると、
約四十万円ほどの治療費がかか
ります。健康保険での給付は、
窓口の支払いが軽減されるだけ
でなく、高額療養費の払戻制度
など、皆様にとって有利な制度
がたくさんあります。
社会全体にとって、貴重なこ
の制度を守り、安定的に運営し
ていくためにも、皆様のご理解
とご協力をお願いいたします。

★臨時職員「看護師・准看護師」を募集★

地域住民の健康と命を守るため、職員一同信頼と期待に応え
られるよう頑張っています。あなたの力をお待ちしています。
ご不明の点は、気軽にご相談ください。

問合せ先 平戸市民病院 業務係
TEL 0950 - 28 - 1113

外来診療担当表(午前中)

診療科	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
内科	押淵	押淵		押淵	
	飯野		飯野	飯野	飯野
		戸川	戸川	戸川	戸川
	柴田	柴田	柴田		柴田
外科	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木
整形外科	飯岡	飯岡	飯岡	飯岡	飯岡
	山口	山口	山口	山口	山口
眼科	吉山	吉山	吉山	吉山	吉山
小児科	光武	光武	光武	光武	光武
内視鏡	池田	池田	池田	池田	池田

(平成16年6月2日現在)

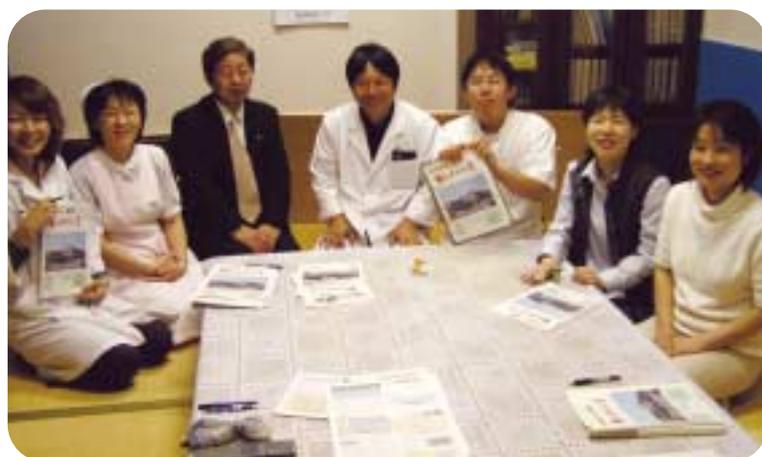
受付時間 午前7時45分から午前11時00分まで

診察時間 午前8時30分から午後5時15分

休診 土、日、祝祭日及び12月29日から1月3日

受付及び診療時間は、診療科で異なる場合がありますので、各診療科へご確認下さい
 急患は時間外でも受付ます
 平日夜間、休診日の診療は当直医が診察します

広報委員を紹介します。写真左から田中管理栄養士、井手看護師、立山事務長、種岡検査技師、豊住理学療法士、大谷看護師、漆看護師の7名です。よろしくお願ひします。



* 編集後記 *

平戸市民病院では、広報を充実させるため広報委員会を立上げました。病院の基本理念及び日々の取組みを的確に伝え、患者様、家族、地域の皆様のニーズを吸収し、双方向のコミュニケーションを取りながら活動していく覚悟です。「市民病院だより」も過去三一号まで発行いたしました。今回からタイトルも「竜んおとし子」と改めました。平戸島の形がタツノオトシゴに似ているところから由来しています。内容もグレードアップして、定期的に年四回の発行をめざします。

今後ともご愛読のほどをお願いいたします。広報に関してのご意見ご質問をお寄せください。

(種岡)